

住友化学が24/3期業績予想を修正 直ちに格付に影響せず

以下は、住友化学株式会社（証券コード：4005）が業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は1日、24/3期通期業績予想の修正を発表した。これによれば、同期のコア営業利益は700億円の赤字（前回予想は400億円の黒字）、最終利益は950億円の赤字（前回予想は100億円の黒字）となる見込みである。エッセンシャルケミカルズやエネルギー・機能材料における世界的な景気減退による需要減少、交易条件の悪化に加え、健康・農業関連事業でも南米等で農薬需要が弱含んでいること、原燃料価格の高騰や需給環境の悪化でメチオニンの採算が悪化していることなどが響く。情報電子化学、医薬品を含め、主要セグメント全てでコア営業利益の予想は下方修正されることとなった。なお、メチオニンに関しては、これまでの想定よりも長期にわたって需要の低迷などが見込まれることから、24/3期第2四半期において帳簿価額全額が減損損失として計上された。
- (2) 24/3期コア営業利益が大幅な赤字予想の二つのセグメントのうち、エッセンシャルケミカルズは中国のプラント新增設の影響もあり、本格的な業績回復には時間を要する可能性もある。ただ、医薬品はコスト削減効果などで、今後、回復に転じると考えられる。今般公表された約30件のビジネスユニットを対象とした事業再構築の効果などもあわせ、25/3期には全体業績は持ち直してくるとJCRでは想定している。24/3期の最終利益がやや大きな赤字となることで、財務面にはある程度悪影響が生じると考えられるが、1兆円を超える自己資本（親会社の所有者に帰属する持分）があり、今後の業績回復を見守る余裕はある。また、財務改善に向けた当社の方針にも変更はない。このため、今回の業績予想修正をもって、直ちに格付を見直す必要はないとJCRでは判断している。今後、公表が予定されている抜本的構造改革などを通じ、業績を早期に成長軌道に戻せるかに注目していく。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

【参考】

発行体：住友化学株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル